

OKINAWA DARC MESSAGE

Q S K



沖縄ダルクからのメッセージ

No144
2018年
6月



一人でも多くの仲間達の為の
新たな居場所

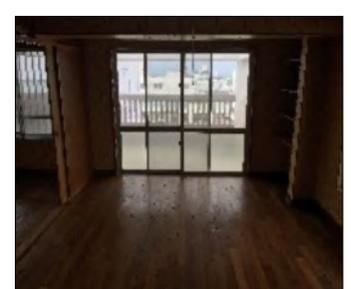
皆様のご支援お願いします。



金武・クラシオン
ミーティングハウス



うるま3/4ハウス
(スリークォーターハウス)



まえはら1/2ハウス
(ハーフウェイハウス)

今年の沖縄は全く雨が降らない空梅雨です

例年この時期に悩まされる偏頭痛がないのは幸いですが水不足が心配され恵の雨を待ち望んでおります

さて、施設の方は 次々と助けを求めてやって来る仲間たちのため、ハイヤーパワーの導きの元、施設の整備がまたまた始まりました。金武の施設の敷地内にあった倉庫を新たに貸して頂き、仲間たちが改装して大きなミーティングハウスができました。その他に 就労ハウスとしてうるま 3/4(スリークォーター)ハウス、女性とセクマイの仲間たちのハウスを拡張移転、宜野湾にプログラムのすすんだ仲間用の1/2(ハーフウェイ)ハウスの設置準備をすすめております。二箇所のハウスを返して新たに3箇所を借り、受け入れのキャパが広がります。スタッフ達は更に忙しくなりますが、その分 手助けを通じてさらに大きく成長をして行くものと思います。現在スタッフ9名 スタッフ研修6名が仲間のサポートに東奔西走して自らの回復成長を続けている姿はとても頼もしく思えます。

ある程度の計画はあるものの 多くはその時々のお出逢いやきっかけ、まさにハイヤーパワーの導きにより広がって来ていると感じます 新たな回復の場所、新たな仲間たちの居場所作り、ひとりでも多くの仲間の回復の為 全身全霊全力で取り組んで参ります 皆様からのご支援ご協力を引き続きよろしくお願い致します

2018年6月 沖縄ダルク 代表 森 廣樹 かげとら

◆ INDEX ◆

- P1 代表 森の挨拶
- P2 仲間の体験談①
- P3 仲間の体験談②
- P4 今月のエイサー
- P5 AWWA授与式他
- P6 エンカウンターワークショップ
- P7 活動報告・予定
- P8 献金・献品

発行元：九州障害者定期刊行物協会
福岡県福岡市博多区網場町1番17号
福岡パーキングンビル4階
編集：沖縄ダルク

「回復への道程」

ミッキー

こんにちは、私は沖縄ダルクにつながり1年5ヵ月になります。

私は重度のアルコール依存症です。私に飲酒の習慣がついたのは今から二十五年前です。大学を卒業し社会人となり、上司や先輩、同僚そして取引先の方々とのつきあいには酒席が付きものでした。企業人としてそして大人の男のたしなみとして飲酒は必要なものであると思ひ込み、連日のように酒席に顔を出し続けておりました。

私は酒に強く周りから「お前は強くて凄いな！」と言われる度に私は酒に強い事がある種の格好良い事のように思えてきて、より一層夜の付き合いに精を出す様になりました。

今思えばこれが後の大きな失敗に続く道程の初めの一步だった事にこの時の私は全く気付いていませんでした。翌年、二十三才で学生時代からの恋人と結婚し二男一女を授かりましたが、飲酒はエスカレートし、自動車事故や交通違反、暴力行為といったトラブルを起こし、多くの女性とも深い仲になり、学生時代の私とはまるで別人となった私は妻を幸せの頂から地獄の底へと叩き落としていったのです。その後三十二歳の時に職を失い、離婚されて私に残った物は

身分不相応な外国製高級スポーツカーと借金だけでした。人生で初めての大きな挫折を経験し、屈辱感に苛まれ、私は職探しをする気力をも失い、連続飲酒の深淵へと落ちていきました。

その後、何度も住む場所、仕事、恋人、付き合う人を変えて生活しましたが、飲酒の問題と正面から向き合わずに生活し続け、本当に多くの人を深く傷つけ迷惑を掛け続けました。

その間に両親や兄といった私を育ててくれた全ての家族を亡くし、そして最後には婚約者までもを失い完全なる孤独を味わいながら私は自責の念と共に連続飲酒に陥り自殺を図った末に事件を起こし、沖縄刑務所に収監され、そこで沖縄ダルクの事を知りました。

刑務所で酒害と暴力防止についての教育プログラムを受けていた私は、飲酒の問題と正面から向き合わねばならないと思いつつも、まだ腹を決めかねている状態でした。そして刑期満了で釈放されましたが、この時点でも沖縄ダルクに救いを求めるか迷っていて一晩中眠る事なく那覇のホテルにて考えた末に私は翌朝、保護観察所へ出頭し沖縄ダルクに連絡を入れて貰いました。本当に急な連絡だったにも拘らず救いを求めた私にダルクは応えてくれました。

昼にはスタッフの方が笑顔で迎えに来てくれて私は沖縄ダルクの仲間達とつながりました。

今思えば神の導きだったかも知れないなあと感じています。

<次のページへ>



その日から入寮しダルクでの生活が始まりましたが、出所すぐという事もあり、眠れない日がしばらく続きました。当時一緒に入寮していた先行く仲間達もまだ回復の日が浅く、年長の私に対して接し難さを感じていた様に思います。具体的な回復プログラムの説明も受けないうちに、バタバタと生活している様な感じでしたが1ヶ月が経過する頃に寮の移動があり、落ち着いた生活となって私はダルクのプログラムに積極的に参加する様になりました。エイサー演舞に於いては、初舞台から一年が経過した今でも大きな拍手を頂戴する度に喜びと達成感に包まれ、自己肯定感も感じられる様になりました。そして去年十二月には仲間達と共に那覇マラソンにも挑戦させてもらい沿道を埋め尽くす一般の方々の熱い声援とサポートを受け、自分よりも偉大な大きな力が私の背中を押し続けてくれ、仲間達と共に完走することができ、ハイパーパワーを信じられる様にもなりました。その後、沖縄マラソン、あやはし海中ロードレースを沖縄ダルクのエイサー衣装を身に纏い走りました。「エイサーマン、チバリヨー！」の本当に熱い声援を沿道から頂戴し、感謝の気持ちと感激に包まれたレースとなりました。応援やサポートをして下さっている皆様や沖縄ダルクの仲間達に感謝の気持ちで一杯です。ダルクでの生活を通して私は、依存症からの回復には、自分自身の内面の問題と正直に向き合い事、考え方や行動そして生き方を変える必要がある事を学びました。私の回復の道程はまだまだこれからですが、回復への12のステップを実践し、これ迄の人生で傷つけた多くの人への償いと埋め合わせを生涯続け、沖縄ダルクの仲間達を初め、私を見守り応援して下さいる全ての皆様に感謝して回復の道をこれからも仲間達と共に沖縄ダルクエイサーマンとして走り続けます。ありがとうございました。



5月5日の琉球新報に彼の記事が掲載されました！！
その記事を見て「決断」し相談に来られた方もいらっしやいました。

沖縄ダルク ミッキー

私に依存症回復施設・沖縄ダルクでリハビリ生活をしていてミッキーと申します。4年前に県内の離島で慶のアルール依存症の診断を受けました。ある悲しい出来事きっかけに連続飲酒に陥りました。

3カ月間、自責の念や後悔、悲しみと不安、そして永遠に続くかのような孤独感と闘いました。絶望のうちに幻視、幻聴に悩まれ、自殺を図りました。一命を取り留めましたが心身の傷は深く、44年間の人生で初めてとん底に落ちた気分でした。

精神科医はこう言いました。「あなたは病気で、適切な治療を受けなければいけません。薬には治療ができません。薬も治療もありません」と、さらにとん底にたたき落とされました。

その後2年は苦しい生活を続けました。自分でもどうしようもないと思い、沖縄ダルクに救いを求めました。突然の連絡でしたが、ダルクはその日に私を受け入れてくれました。笑顔で迎えてくれてスタッフや施設長、回復中の仲間達の顔は今でもハッ

心の扉を開いたら

患者会・福祉団体便り

回復目指し自身と向き合う

依存症はその対象物だけでは回復できないと、ダルクのプログラムや生業を通して知りました。過去、そして現在の自分自身としっかりと向き合い生活しなければ解決できない病気が感じます。最後にまた苦しんでいる仲間のために祈り、そして患者の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

キリ覚えています。それから1年5カ月余りが過ぎ、仲間たちと回復プログラムに取り組み中。喜び生きる喜びを感じられるようになりました。琉球太鼓（エイサー）の演舞では多の方に拍手を頂戴し、達成感喜びを感じています。昨年よりフルマラソンの回、ハーフマラソン1回、仲間と共に挑戦し、全完走しました。

あちこちではエイサーの衣装で、沿道から「チバリヨー」の大声援をいただきました。本当にうれしく、元気をもらって走り続けることができました。これからも「沖縄ダルクエイサーマン」を走り続けます。

本学卒業後、社会人になって20年以上の飲酒生活。多くの人に迷惑をお掛けしたことを決して忘れません。生涯をかけて償い、埋め合わせを続け、今後の人生を仲間との回復のためにさげます。

5月のエイサー演舞



「たくさんの演舞に参加して感じたこと」

ダルクの生活にも慣れてきて、素面で生きる素晴らしさを日々感じています。その中で、エイサーの素晴らしさを最近分かってきました。最初は戸惑いもあり緊張もしていたのですが、チョンダラーの役割をやっていく回数が増えていくにつれ曲も覚え、どうやらお客様のお笑わせ盛り上がるようにできるか心がけて踊るようになりました。なので最近、エイサーのメンバーに選ばれるのがとても嬉しいです。色んな人と触れ合う事ができることがとても良い経験になります。これからは、太鼓をもって演舞にも参加できるように5曲を覚えて頑張っていきたいと考えています。夏に向けて暑い日々が続きますが、練習に励んで行きたいと思います。

アルメイダ

5月17日 (木) KADENA・AIR BASEにて、AWWA主催の授与式に参加させて頂き、代表森による沖縄ダルクの紹介、そしてエイサーの演舞までさせて頂きました。

この度はAWWA様から沖縄ダルクへ多大なる献金及び献品を頂き、本当に有難うございました。



Fellows who keep on leaping (飛躍し続ける仲間)

今年で6年目となり、今年の春から福祉系の通信制の大学に通うことになりました。回復を続ける中で自身の回復と周りの家族や仲間の幸せを実現する為に一日一日、薬を使わずにこれからも仲間の手助けを続けていきたいと思えます。

岸本 裕樹



うるま市石川にて歩道の清掃を行う**樹木会**がはじまりました。毎月第3火曜日に「楽寿園」の職員の方々と共に、当施設から約10名程が葉や土で覆われた歩道を清掃・整備し、安全に歩行者が通る事ができるように作業をさせて頂きます。



九州・沖縄エリア

エンカウンターワークショップ開催！！

5月11日（金）、沖縄ダルク サントゥアリオにてエンカウンターグループのワークショップを開催しました。

エンカウンターグループとは、
依存症を対象とした治療共同体モデル9つの内の1つ「メンバーシップフィードバック」という要素を主体としたグループワークです。

施設内で行われている「言いつばなし、聞きつばなし」のミーティングとは異なり、グループの中で誰かが発言し、他の参加者が質問やフィードバックを伝える事で、その発言者をサポートするグループワークです。

このグループワークの特徴は、質問とフィードバックが安全に環境の中で行われることで、グループに参加する1人ひとりに気付きと回復の為の力がもたらされます。

今回沖縄で開催したワークショップには九州・沖縄エリアから総勢24名の参加がありました。今後は各施設で今以上に生きづらさを抱えている仲間達の手助けとなる事でしょう。



5月10日から6月9日まで活動報告

【5月】

11日 (金) 九州地区エンカウンターワークショップ	サントウアリオ
13日 (日) 第5回RUNNET EKIDEN沖縄参加ユウキ、ミッキー、ケンゴ、アロハ、ハーシ	豊崎美らSUNビーチ
15日 (火) 聖書勉強会 谷 名誉司教	サントウアリオ
(火) 沖縄ダルク家族教室	サントウアリオ
16日 (水) 那覇保護観察所ステップアッププログラム 森	那覇保護観察所
那覇工業高校 講演 森廣樹	那覇工業高校
17日 (木) カテナAWWA総会 講演 森廣樹 エイサー演舞	嘉手納基地
19日 (土) 依存問題の支援に関わる人達の勉強会 長久保	ルポアYARA 2Fリカバリーサポート・ネットワーク事務所
22日 (火) DV防止について考える講座	沖縄県総合福祉センター
23日 (水) 那覇保護観察所コアプログラム 森	那覇保護観察所
恩納村更生保護女性会 カーサクラシオン視察	カーサクラシオン
24日 (木) 浦添工業高校 講演 森廣樹	浦添工業高校
26日~27日 RSC会議 星、マナツ	東京船員会館
27日 (日) やっかれんフォーラム2018 森	千葉県美術館講堂
29日 (火) 那覇保護観察所ステップアッププログラム 森	那覇保護観察所

【6月】

2日 (土) 沖縄ダルク家族の会	サントウアリオ
6日 (水) 那覇保護観察所コアプログラム 森	那覇保護観察所
8日 (金) みのわMAC40周年記念大会 森	赤羽会館
9日 (土) ダルク出版記念セミナー	東京医科歯科大学
10日 (日) ワンデーポートセミナー	神奈川司法司法書士会館

6月10日から7月15日まで活動予定

12日 (火) 聖書勉強会 谷 名誉司教	サントウアリオ
13日~15日 水納島サマーキャンプ2018	水納島
16日 (土) グレイスロードフォーラム参加	甲府市総合市民会館
18日 (月) TCエンカウンター研究会	国立精神医療センター
19日 (火) 聖書勉強会	サントウアリオ
20日 (水) 那覇保護観察所コアプログラム	那覇保護観察所
21日~24日 JRCNA	ウィンクあいち
26日 (火) 那覇保護観察所ステップアッププログラム	那覇保護観察所
29日 (金) 琉球大学法学部 講演 森廣樹	琉球大学

【7月】

5日 (木) 県立石川高校 講演 佐藤・八木	県立石川高校
宮古中学校 講演 森廣樹	宮古高校
多良間中学校 講演 森廣樹	多良間中学校
北中学校 講演 森廣樹	北中学校
6日 (金) 韓国中毒施設教会セミナー	圓光デジタル大学 ソウルキャンパス 地下1階講義室
7日 (土) 第6回ソウルダルクフォーラム	圓光デジタル大学 ソウルキャンパス 地下1階講義室

『家族会・家族教室』

第3火曜日 (5/22)・(6/19) 家族教室 18:30~20:00	サントウアリオ (大謝名)
第1土曜日 (5/5)・(6/2) 家族の会 13:30~16:30	サントウアリオ (大謝名)

『週間プログラム・及びボランティア』

毎週木曜日 ヨーガ教室	宇地泊公民館
30年度薬物・アルコール依存症ショートケア (前期) プログラム	沖縄県立総合精神保健福祉センター
毎週金曜日 ボランティアの日	

~編集後記~

今年の沖縄は去年と同様、梅雨入りしても雨が降らない「空梅雨」のようです。ジメジメとした日々が続く、体調を崩す仲間も増えています。どこの店でも冷房がついている為、外気温との寒暖の差が激しく体調管理には特に気をつけたいところです。

さて、お陰様で沖縄に来て5年が経ちました。毎日色々な事が起こるわけですが、相変わらず平常心を保つ事が苦手な自分に笑ってしまいます。忙しい時には怖い顔になり、嬉しい時には自然と顔が緩む。

まあこれが普通に生きるって事なんですかねえ。。笑

スタッフ 星 太郎



支援者の皆様方へ



沖縄ダルクへの献金、献品を頂いた方々ありがとうございます
心より感謝申し上げます

4月26日～5月25日到着分の献金

石川清司 加藤郁雄 稲村幸子 鈴木晶 フランシスコ姉妹会 玉城順子 沖縄県保護司会連合会
沖縄県更生保護女性連盟 安里修道院 岸本貴志 開南修道院 吉村正夫 宮内一郎 長浜モーター(有)
長久保江世 富田安世 森下幸子 小野里篤美 仲谷三好 高山順一 小池和弘 宜野座哲 森阿希 小野里欣子
小野里篤美 坂本純子 星野孝雄 西村清美 ヒューバー和恵 中村綾子 中村澄子 鈴木直路
(有)沖縄サンコースト 北谷町更生保護女性会 西北ロータリークラブ 北野 沖縄家族の会 沖縄第一聖潔教会
その他多数の匿名の方 (順不同・敬称略)

また、お手数ですが匿名希望の方はその旨を通信欄に、その都度ご記入下さりますようお願い致します。

4月26日～5月25日到着分の献品

北谷町更生保護女性会 AWWA 沖縄市更生保護女性会 佐賀ダルク 宮崎ダルク 沖縄家族の会
恩納村更生保護女性会 その他多数の匿名の方 (順不同・敬称略)

4月26日～5月25日の献金合計¥521,450

献金のカード決済が出来るようになりました。



- ① 沖縄ダルクホームページを検索 →
- ② ご寄付・ご支援のお願いをクリック →
- ③ 内容のご入力をお願いします。

詳しくは付録に記載しています

(ご不明な点等ございましたら 担当 長久保まで)

ホームページ『沖縄ダルク』<http://okidarc.or.jp>
facebookでも活動の様子をご覧になれます。『沖縄ダルククレアドール』・『沖縄ダルクサントウアリオ』と検索してください。

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

定価 100円 (会費に含む)

郵便振替口座

01770-1-142380

沖縄ダルクを支援する会

編集

〒901-2221

TEL (098) 893-8406 FAX (098) 917-2560

Eメール daycare@okidarc.or.jp

アドレス

<http://okidarc.or.jp>

発行：九州障害者定期刊行物協会 福岡県福岡市博多区網場町1番17号福岡パーキングビル4階